

2020年4月27日

## 「TSUBASAアライアンス」への琉球銀行の参加について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）ほか「TSUBASAアライアンス」参加行※は、2020年4月27日(月)、「TSUBASAアライアンス」に琉球銀行（頭取 川上 康）が新たに参加することに合意しました。これにより、参加行は10行となり、北海道から沖縄まで全国を網羅するネットワークが形成されます。

これまで「TSUBASAアライアンス」では、フィンテック分野における新サービス導入や、法人のお客さまの課題解決に資するM&Aでの情報連携など、幅広い分野で協業を進めてまいりました。また、マネーロンダリング・テロ資金供与対策の高度化に向けた取組みにおいても連携を開始しています。

今後も、幅広い分野において戦略的アライアンスを一層加速させ、付加価値の高い金融サービスを提供していくことで地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が広がるなか、各行の知見や取組みの共有・活用を進めることで、地域の皆さまへより迅速で安心いただけるご支援ご対応を行ってまいります。

### <TSUBASAアライアンス概要>

沿 革	2015年10月	千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行で発足
	2016年3月	伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加
	2016年7月	共同出資によりT&Iイノベーションセンターを設立
	2018年4月	北越銀行が参加
		「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始
	2019年3月	当行が参加
	2019年5月	滋賀銀行が参加
	2020年4月	琉球銀行が参加
連携目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進</li> <li>・参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進</li> </ul>	

※武蔵野銀行、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、滋賀銀行の9行  
以上

本件に関するお問い合わせ先  
総合企画部 アライアンス推進室 關本  
048-641-6111（代） 内線 2162